



ITU-T TSAG (2/10-2/14) 会合報告

総務省 国際戦略局 通信規格課 専門職

あまの ゆうき
天野 佑基



1. はじめに

2020年2月10日から14日まで、国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) のTSAG (Telecommunication Standardization Advisory Group: 電気通信標準化諮問会議) 会合がスイス (ジュネーブ) のITU本部において開催された。今会合はITU-Tの2017年~2020年研究会期における5回目の会合であり、44か国から179名が出席し、我が国からは、主管庁である総務省とともに、NTT、NEC、日立、三菱電機、NICT、TTCから計9名が現地参加し対応した。

また、新型コロナウイルスの影響で、中国の海外渡航自主規制等により参加できない者に対して、Web会議による対話型のリモートアクセスの環境が提供される等、ITU-Tの決議を伴う本会議でのリモートアクセスのガイドラインを急遽見直し、緊急事態の危機管理対応での開催となった。

2. TSAG研究体制

TSAGにおける主要課題の詳細検討はTSAGプレナリの配下にラボータグループ (RG) を設置して行っている。今会合で地域グループRGが終了となったため、次会合ではRGが1つ減り、6つのRGへ体制が変更されることとなった。変更後の体制は下記の図に示すとおりとなっている。

3. 今会合における主な議論と結果

前会合において、特定の議題について公式時間外もフルに活用してアドホック会合が開催されたことに対し、議論を長引かせるだけであるため、安易にアドホック会合を設定すべきではないとの意見が参加者から出たことを踏まえ、今会合では可能な限り通常のRGセッション内で集中審議を行うこととなった。

そのため今会合のアドホック会合は、FG-NET2030の情報共有を行うセッションと、標準化戦略RGセッションで

TSAG	議長: Mr. Bruce GRACIE (カナダ) 副議長: Mr. Omar AL-ODAT (ヨルダン) Ms. Rim BELHASSINE-CHERIF (チュニジア) Mr. Reiner LIEBLER (ドイツ) Mr. Victor Manuel MARTINEZ VANEGAS (メキシコ) Mr. Vladimir Markovich MINKIN (ロシア) Ms. Monique MORROW (米国) Mr. Matano NDARO (ケニア) Ms. Weiling XU (中国)
	RG-StdsStrat (Standardization Strategy: 標準化戦略) 共同ラボータ: 前田洋一氏 (TTC、日本) Ms. Judy ZHU (Alibaba Group、中国) Mr. Didier BERTHOUMIEUX (Nokia、フィンランド) Ms. Rim BELHASSINE-CHERIF (Tunisie Telecom、チュニジア) ★ Mr. Vasily DOLMATOV (ロシア) Mr. Stephen HAYES (Ericsson、カナダ) Mr Arnaud Taddei (Broadcom、米国)
	RG-WP (Working Programme and structure: 作業プログラムと構成) ラボータ: Mr. Reiner LIEBLER (ドイツ) ★
	RG-WM (Working Methods: 作業方法) ラボータ: Mr. Steve TROWBRIDGE (Nokia、米国)
	RG-SC (Strengthening Cooperation/Collaboration: 協力・連携強化) ラボータ: Mr. Glenn PARSONS (Ericsson、カナダ)
	RG-SOP (Strategic and Operational Plan: 戦略・運営計画) ラボータ: Mr. Victor Manuel MARTINEZ VANEGAS (メキシコ) ★
	RG-ResReview (the review of WTSR Resolutions: WTSR決議レビュー) ラボータ: Mr. Vladimir Markovich MINKIN (ロシア) ★
	今回会合にて終了 RG-CPTRG (Creation, Participation and Termination of Regional Groups: 地域グループ) ラボータ: Mr. Kwame BAAH-ACHEAMFUOR (SG12議長、ガーナ)

★印はTSAG副議長

図. TSAG研究体制

時間が足りず議論が行えなかった寄書に関するセッションの2セッションのみが開催された。それぞれのRGでの検討内容について、次項以降で詳細を述べる。

3.1 標準化戦略RG (Standardization Strategy)

共同ラポータ内で取りまとめ役を順番に交替して運営を行っており、今会合のRG議長はRim Belhassine-Cherif氏(チュニジア、チュニジテレコム)が務めた。次回第6回TSAG会合でのRG議長はArnaud Taddei氏(アメリカ、Broadcom)が担当する予定である。

RG-StdsStratでは、今後の標準化課題を戦略的に評価分析し、将来課題に反映させることを目的としており、特にCTO会合の提案を基に、産業界の意見を標準化戦略に反映させる観点から、標準化の新規重点課題について検討をしている。また、SGの標準化活動の活性化と健全な活動状況を把握するための評価指標と統計データの収集や、標準化によるSDGsへの貢献方法についても取り組んでいる。

本RGへは前回に引き続き、我が国から下記のSDGsへの貢献に関連する寄書を1件入力している。

- ・SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) への貢献について

前会合までに、各SGの新規作業項目を作成する際に、どのSDGsに貢献するかをマッピングする手法を提案。今会合では、前会合から今会合までに開催された下記の3回の中間会合(電子会議)で上記のマッピング手法の検討を推進した結果の報告と、各SG内で実際に運用する際の手順・方法についての提案を行った。

また、本寄書に併せて、ITU-T事務局から、AIを活用したSDGsと各SGの作業項目の関連付けを自動化するツールの作成プロジェクトが始動したことが紹介された。これは今提案を含むこれまでの我が国からのSDGs関連提案を踏まえたものであり、ITUの活動とSDGsへの貢献とを関連付けることの重要性について、一定の理解が得られた事を示している。

SDGsへの貢献については、上記の自動化ツールも含め、引き続き標準化戦略RGの中間会合等を活用して、ITU-T事務局と調整・連携していくこととなった。標準化戦略RGの中間会合は次回TSAG会合までに3回開催することが合意された。

今会合までに開催された標準化戦略RG中間会合日程(電子会議)及び今後の予定

- (開催済) 電子会議: 2019年11月1日

(ジュネーブ時間13:00~15:00)

- (開催済) 電子会議: 2019年12月6日

(ジュネーブ時間13:00~15:00)

- (開催済) 電子会議: 2020年1月20日

(ジュネーブ時間13:00~15:00)

- 第1回電子会議: 2020年4月23日

(ジュネーブ時間13:00~15:00)

- 第2回電子会議: 2020年7月2日

(ジュネーブ時間13:00~15:00)

- 第3回電子会議: 2020年9月4日

(ジュネーブ時間13:00~15:00)

今会合では上記のSDGsのほか、今後の標準化課題(ホットピック)のリストをより関連トピック等が管理しやすいよう再構成した結果と併せて、ホットピックの優先順位の追記を各SGに求めるリエゾン文書の作成や、各SGの活動評価指標について、ITU-T事務局からSGごと・課題ごとの参加者数・寄書数・成果物数等を自動集計する取組み、調査状況の共有等が行われた。

3.2 作業計画・体制RG (Work Programme and structure)

ラポータはReiner Liebler氏(ドイツ、連邦ネットワーク規制庁)。全てのSGの活動報告を検証し、SGが提案する課題構成の変更案については是認(endorse)するとともに、次会期のSG構成の見直し案を検討する役割を持っている。

今会合では、事前にITU-T事務局長からWTSA-20に向けてSG構成の見直しに関して意見を提出するよう求められていたこともあり、各メンバー(国・企業)から合計13件のSG構成見直し関連の寄書入力があった。我が国からも、SG再編の目的や関連する規則について明確化を要求する寄書を提出した。

本RGは最多の4セッションが開催され、全ての寄書の内容確認と再編に対する基本原則の明確化について議論が行われた。寄書の大半が我が国と同様に、再編目的等の明確化を求める提案や、再編にあたっての基本原則に関する提案であり、今会合では具体的な再編案までは議論を行わず、WTSA-16の際に用いたSG再編原則(全7項目)を基に原則論の議論が行われたが、今会合では議論は収束しなかった。

今会合の結果としては、SG再編の議題については今後も作業計画・体制RGで取り扱うことが合意され、各SGと各地域組織(APT、ARAB、ATU、CEPT、CITEL、RSSの6地域)に対して、SG再編原則の改訂の必要性等について意見を求めるリエゾン文書が送付されることとなった。



今後、2020年8月に開催される本RGの中間会合において、各地域からの返答を踏まえて、再度SG再編原則を基に原則論の議論を行い、次回のTSAG会合で具体的な議論が行われる予定である。

3.3 作業方法RG (Working Methods)

ラポータはSteve Trowbridge氏 (米国、ノキア)。ITU-Tにおける様々な作業手順やルールを規定するAシリーズ勧告の維持管理の役割を持っている。

今会合では、Rapporteur and Editor Manualの発行が合意されたほか、SGの作業方法を規定する勧告A.1とフォーカスグループに関する勧告A.7の改訂に関する寄書の入力があり、審議が行われた。次回TSAG会合までに2回のWeb会議の開催が合意され、WTSA決議1とITU-T勧告A.7について主に議論を行うことが合意された。

3.4 標準化協調強化RG (Strengthening Cooperation/ Collaboration)

ラポータはGlenn Parsons氏 (カナダ、エリクソン)。他の標準化機関との協調の在り方や強化策についての検討を行っている。

今会合では、本RGへの入力寄書は無かったため、他の標準化機関との連携状況 (JTCl、SPCG、ETSI等) やセクター内での調整状況 (ISCG、ITU-R、ITU-D等) についての情報共有がなされたのみであった。

3.5 地域グループRG (Rapporteur Group on Creation, Participation and Termination of Regional Groups)

ラポータはKwame Baah-Acheamfuor氏 (ガーナ、国家通信局)。全権会議PP-18で承認された勧告8に関する課題で、各SGが設立するRegional Groups (地域グループ) の設立、参加、解散に関わる基準の明確化について検討していた。

今会合では、前会合の議論結果とSG12議長からの報告を踏まえて、地域グループの設立・参加・解散に関する明確な基準が決定し、合意された。また、地域グループの設立と解散の基準に関わるWTSA決議54の改訂案についても合意された結果、前記の目的が達成されたとし、今会合をもって本RGは終了することが宣言された。

3.6 WTSA決議レビュー RG (WTSA Resolutions Review)

ラポータはVladimir Minkin氏 (ロシア、国立無線通信研究所)。WTSAの決議の進捗検証を行うとともに、関連の強い決議の統合化や決議記述の簡易化を図り、WTSAの決議文書のスリム化を推進することが課題である。

今会合では、アフリカ地域 (ATU) と欧州地域 (CEPT) の2地域から、決議43や決議67等のWTSAへの地域からの参加の平等性 (言語等) に関連する決議の更新や、上位組織である理事会の決議との重複を理由に要職者に関係する決議35等を削除する提案がなされた。詳細な議論は各地域組織からの意見が出そろってから行うとされ、各地域組織に対してWTSA決議の更新・削除・継続に関して意見を求めるリエゾン文書が発出された。リエゾン文書への返答期限は暫定で2020年5月31日を予定しており、WTSA決議に関する提案は、期限までにアジア・太平洋地域 (APT) として、意見をまとめる必要がある。

3.7 その他 (アドホック会合の内容等)

・FG-NET2030の活動状況の共有について

前会合において、中国が将来ネットワーク関連の提案として新IPの検討を提案し、各SGに対して意見を求めるリエゾン文書がTSAGから発出されたことを受け、一部のSGやメンバーから当該リエゾンに対する返答文書が今会合に提案され、その中で将来ネットワーク関連を既に検討しているFG-NET2030との差別化や、活動の重複の懸念等が示されたため、アドホック会合を設定し、FG-NET2030の活動状況を共有するセッションが開催された。

FG-NET2030の議長であるRichard Li氏が将来網に関するFGの動向を講演し、FG-NET2030の検討は2030年以降のネットワーク機能についてであり、他方、新IPは新しいプロトコルとそれに対応するネットワークアーキテクチャ、要件、機能、シグナリング及び制御に関する研究であることから、独立した内容であると説明された。

今会合では新IPの検討については議論が収束せず、アドホック会合での議論内容を各SGにリエゾン文書として発出することが合意された。

4. 今後のTSAG会合の予定

次回のTSAG会合 (今会期最後の会合) は2020年9月21日～25日までの5日間の日程で、ジュネーブで開催される予定となっており、併せて9月18日・19日の2日間で、WTSA-20に向けた地域組織 (6地域) のコーディネイト会合が開催される予定となっている。

またWTSA-20に向けた重要な会合としては、2020年8月5日～7日に作業計画・体制RGの中間会合が開催される予定である。